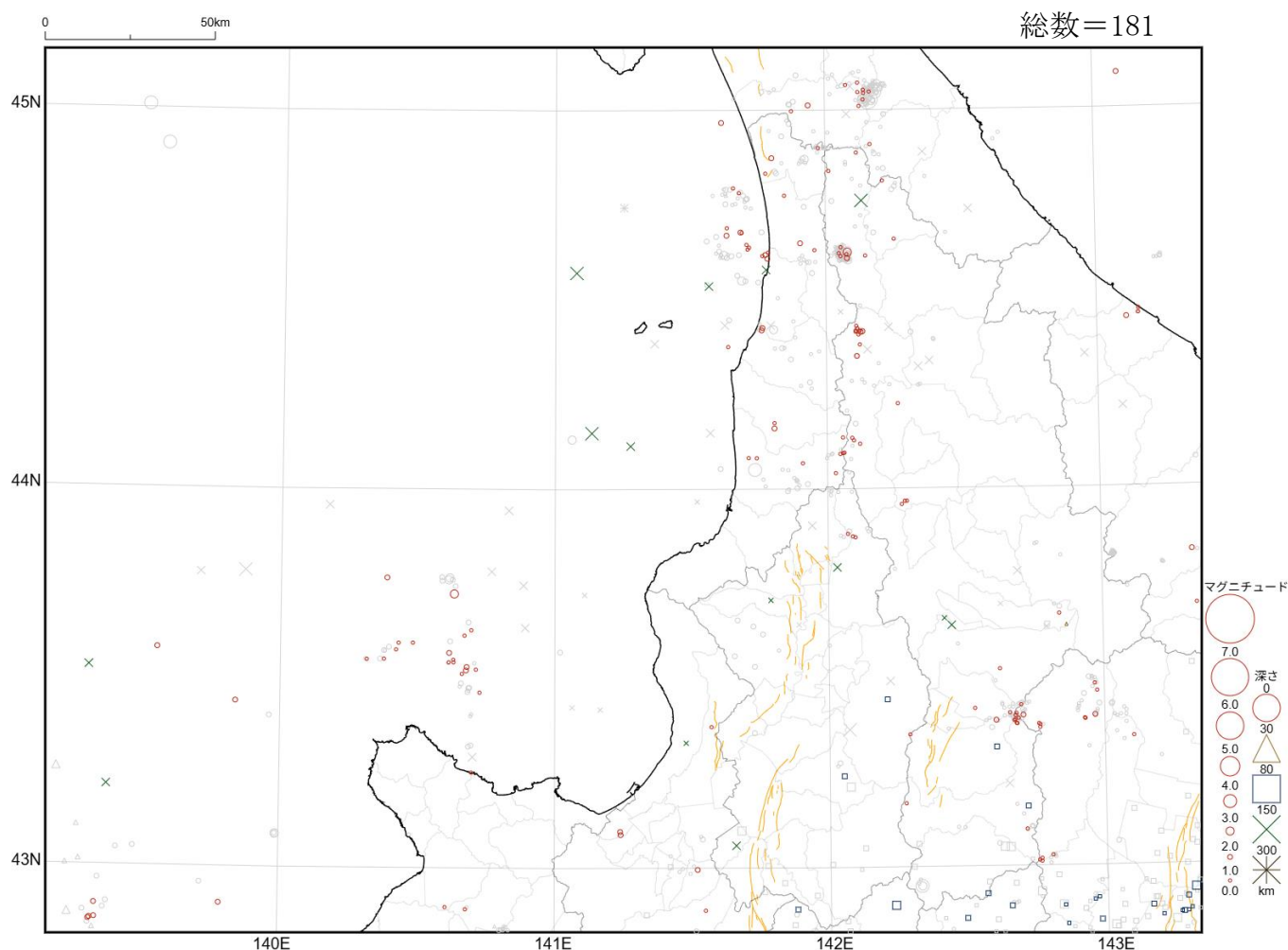


# 上川・留萌地方の地震活動図

2026年6月

旭川地方気象台

## 震央分布図



- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

## 地震概況（2026年6月）

この期間、上川・留萌地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回（5月は2回）でした（「上川・留萌地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

25日07時30分、岩手県沖の地震（M7.2、深さ44km、震央分布図の範囲外）により、剣淵町、美瑛町、富良野市、中富良野町、南富良野町、占冠村で震度3を観測したほか、上川・留萌地方で震度2～1を観測しました。

28日05時21分、岩手県沖の地震（M6.1、深さ41km、震央分布図の範囲外）により、富良野市で震度1を観測しました。

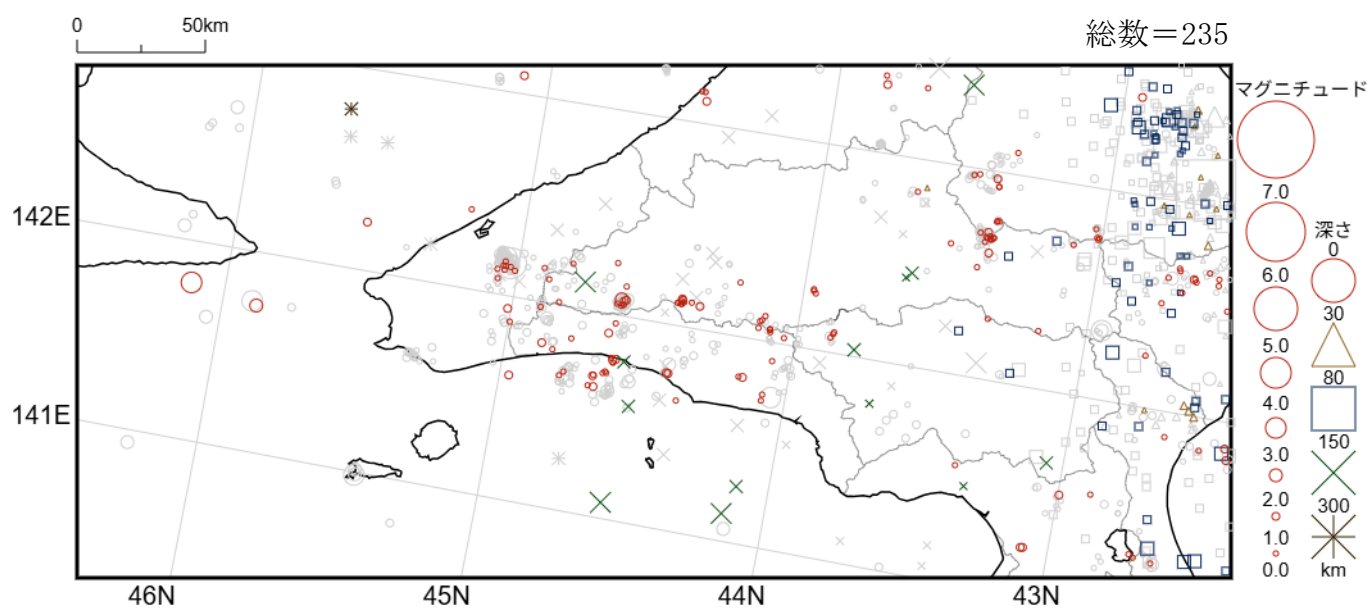
この活動図は、旭川地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/>

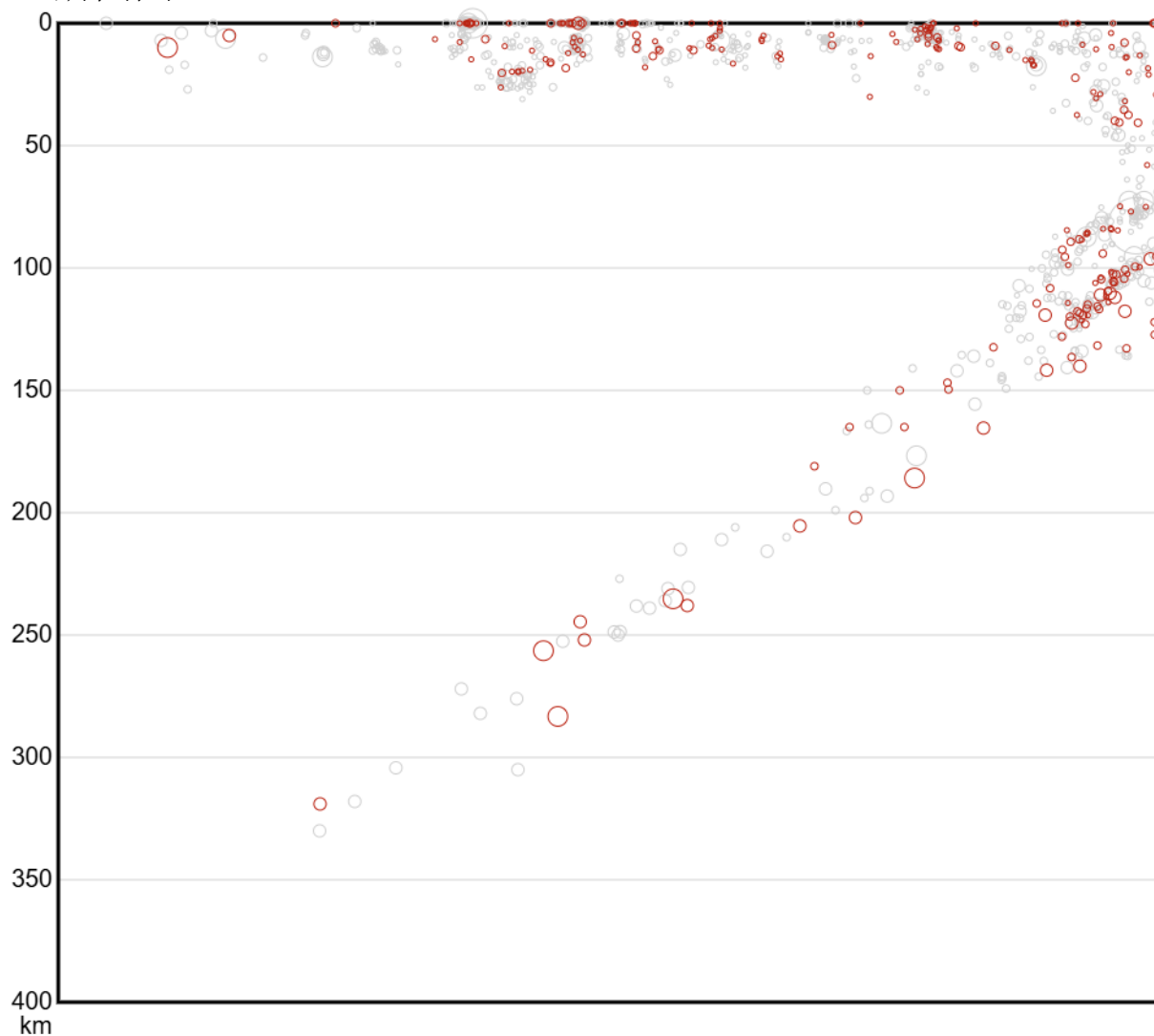
この資料に関する問い合わせ先 旭川地方気象台 TEL 0166-32-7102

2026年6月

震央分布図



断面図

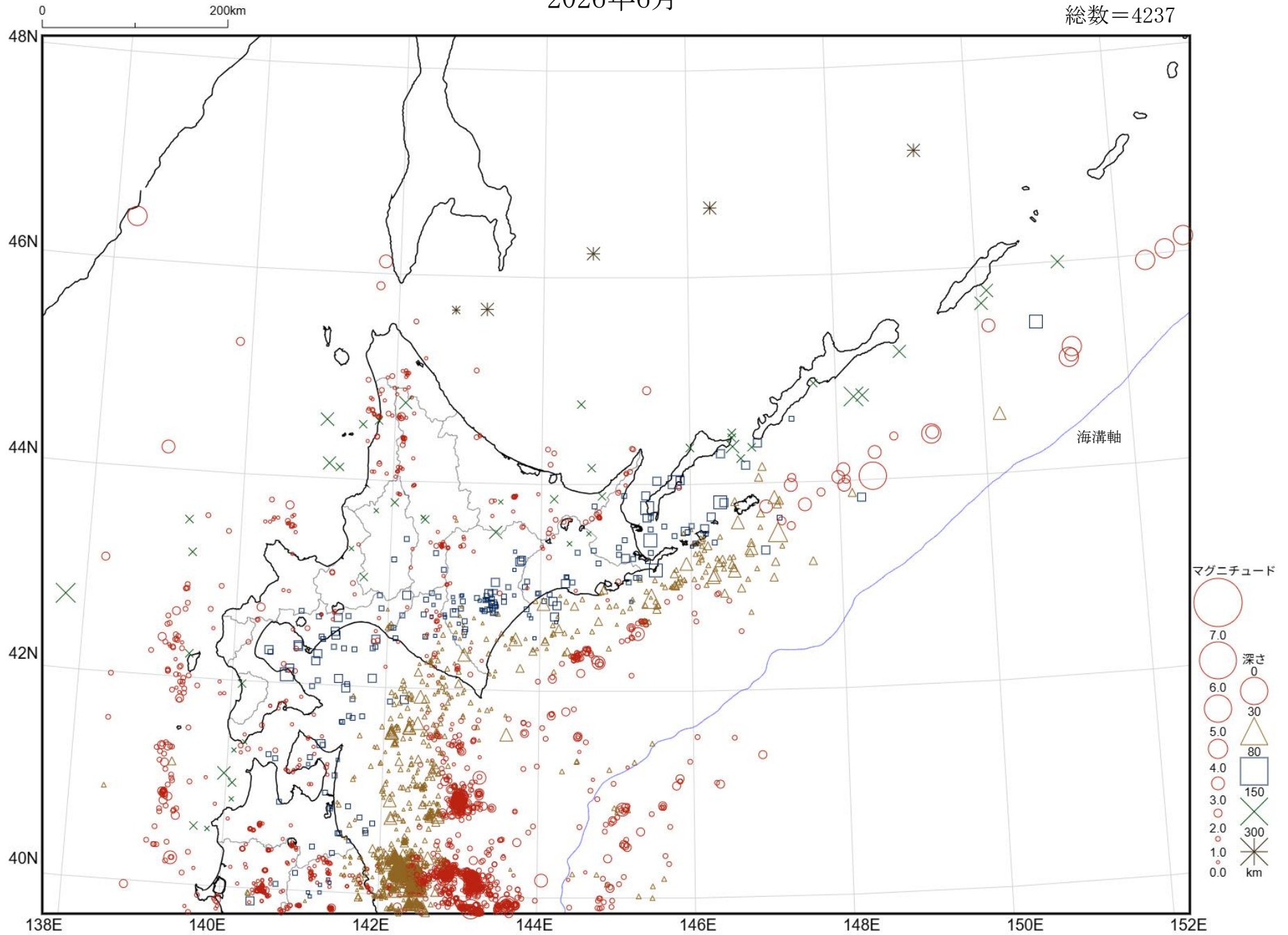


# 北海道の地震活動図

震央分布図

2026年6月

総数=4237



# 上川・留萌地方で震度1以上を観測した地震の表 (2026年6月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)	
1	2026年 6月25日	07時30分	岩手県沖	40° 12.6' N	142° 18.2' E	44 km	M7.2 ☆	
	2026年 6月25日	07時31分	岩手県沖	40° 07.2' N	142° 24.0' E	34 km	M5.0 ☆	
	2026年 6月25日	07時33分	岩手県沖	40° 11.9' N	142° 20.6' E	40 km	M3.5 ☆	
	上川地方	震度 3	剣淵町仲町*(30) 美瑛町忠別*(25) 富良野市若松町(27) 富良野市末広町*(26) 中富良野町本町*(32) 南富良野町役場*(25) 占冠村中央*(26)					
		震度 2	士別市東3条*(18) 名寄市西5条*(19) 名寄市風連町*(17) 和寒町西町*(15) 下川町北町*(17) 美深町西町*(15) 幌加内町平和*(21) 幌加内町朱鞠内*(16) 旭川市宮前1条(22) 旭川市7条*(22) 鷹栖町南1条*(19) 東神楽町南1条*(23) 当麻町3条*(24) 比布町北町*(19) 上川地方上川町越路(16) 上川地方上川町花園町*(16) 東川町東町*(17) 美瑛町本町*(22) 上富良野町大町(22) 南富良野町幾寅(20)					
		震度 1	士別市朝日町(13)					
	留萌地方	震度 2	羽幌町南3条(18) 羽幌町南町*(18) 留萌市幸町*(19) 増毛町見晴町*(24) 増毛町岩尾*(16) 小平町達布*(16)					
		震度 1	初山別村有明(12) 遠別町本町*(13) 天塩町川口*(13) 留萌市大町(13) 小平町鬼鹿*(13)					
	2	2026年 6月28日	05時21分	岩手県沖	40° 12.4' N	142° 22.0' E	41 km	M6.1
		上川地方	震度 1	富良野市若松町(09)				

☆ 近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないことを示します。地震は規模順に並べています。

\* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。  
( ) 内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

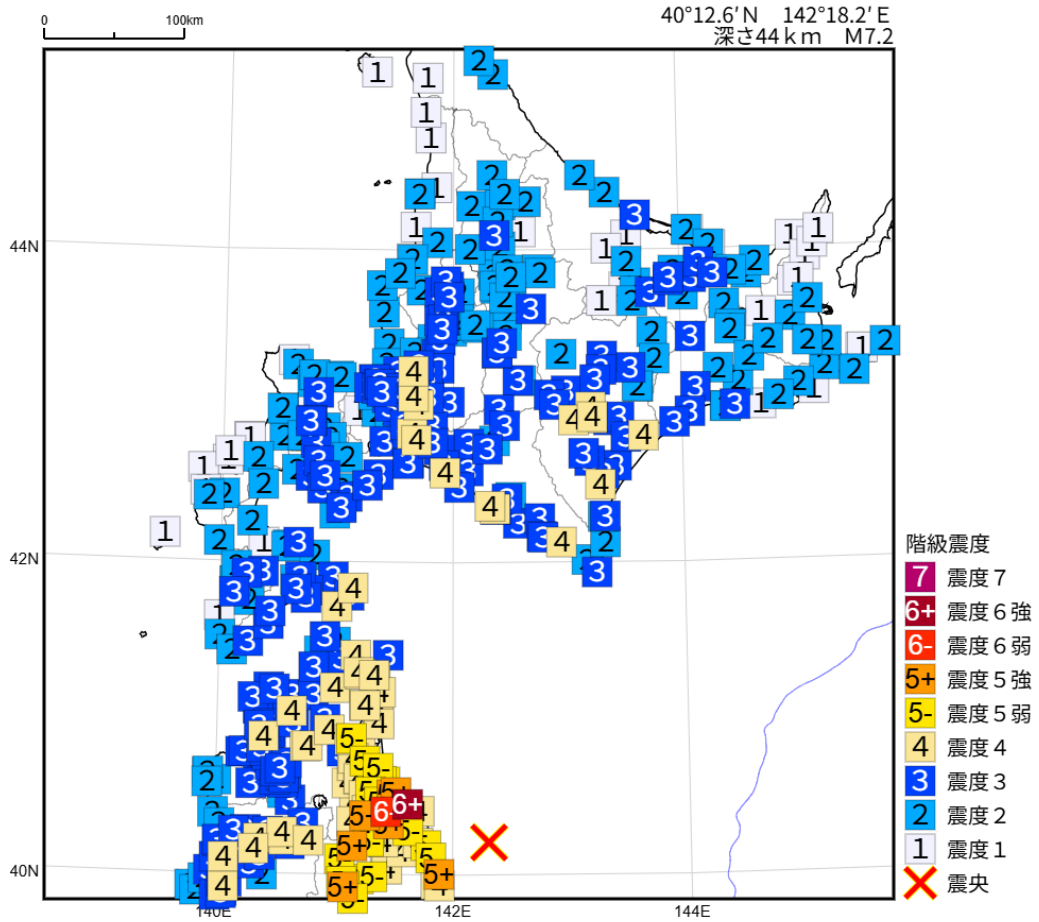
## 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

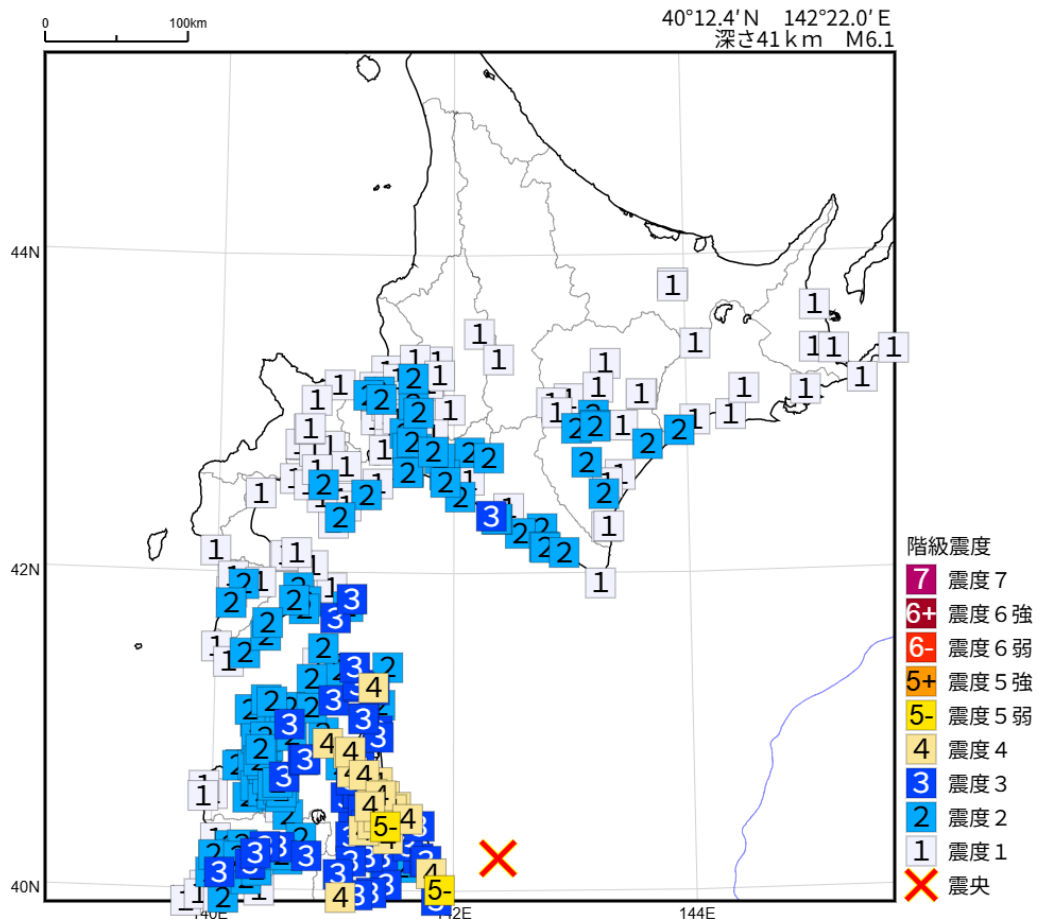
## 本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

2026年 6月25日 07時30分 岩手県沖の地震の震度分布図



2026年 6月28日 05時21分 岩手県沖の地震の震度分布図



## 【防災メモ】

# ～津波フラッグは避難の合図～

### ●津波フラッグ

「津波フラッグ」は、大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。北海道内でも昨年7月のカムチャッカ半島東方沖の地震で津波警報等の発表時に活用されました。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



写真 津波フラッグ活用事例  
令和7年7月30日のカムチャッカ半島東方沖の地震の際に大分県大分市の田ノ浦ビーチに掲げられた津波フラッグ



津波フラッグは、長方形を四分割した、赤と白の格子模様デザインのデザインです。主に船舶間の通信に用いられ、「貴船の進路に危険あり」を意味する国際信号旗である「U旗」と同様のデザインとしています。  
※U旗は右図のように他の国際信号旗と組み合わせることで、別の意味になることがあります。  
(例：U旗とW旗（同じく国際信号旗）を組み合わせると「安全な航行を祈る」の意味となります。)



### ●参考 URL（気象庁 WEB サイト）

津波フラッグの解説：

[https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami\\_bosai/tsunami\\_bosai\\_p2.html](https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html)

